

# 視察研修・研修会等報告書

議席番号 ( 6 ) 議員名 ( 櫻井 惠二 )

1 年 月 日	令和4年12月19日～21日	(日数 2泊 3日)
2 場 所	青森県五所川原市、秋田県大館市	
3 視察、研修事項	新庁舎建設について、 統廃合により廃校になった学校の利活用について	
4 面 接 者	五所川原市総務部管財課 外崎経明課長 〃 太田裕介主幹・係長 五所川原市議会事務局 長谷川哲事務局長 大館市管財課 田中達哉課長 大館市議会議員 小畑新一教育産業常任委員長 大館市議会事務局 工藤仁事務局長	

## 5 視察研修、研修会の成果

### ・新庁舎建設について

五所川原市新庁舎が開庁に至るまでの経緯、経過、問題点等を視察した。

(所感)

五所川原市新庁舎については、空間が広く、しきり等がないことで圧迫感が少なかった。また、窓口には発券機が設置されており、窓口の混雑緩和や番号での呼び出しによるプライバシーの保護につながるものであった。

新庁舎は、市民利用が多い窓口を1階に集約し、市民の利便性を高め、また地震・水害・停電などを想定し、それらに対応した防災対策機能を備えた庁舎となっており、本市における新庁舎建設においても参考となるものであった。しかしながら、本市においては子育て世帯に向けた施設も今後必要と考えるので、子育てに必要な施設を含め、複合化した庁舎を建設し、今までとは違った市役所をつくるべきだと考える。

### ・統廃合により廃校になった学校の利活用について

合併により管理施設が増加したことから、条例を制定し空き公共施設等の有効活用を図っている。現在の空き公共施設の利活用状況と課題について視察した。

(所感)

廃校の利活用により地域に賑わいが戻り、企業誘致などによる雇用の創出など地域活性化につながっている。

本市においても学校の統廃合により廃校施設が増加することが見込まれるため、施設

の有効活用が課題となる。廃校が決定しているのであれば、早い段階で地域の課題やニーズを把握することが大切だと考える。また、廃校の利活用に当たってはテーマを決めて取り組むことも必要であり、例えば本市であれば木材に関連した小さな企業を集めて矢板木材団地などをつくり、若い人が起業しやすい環境を提供することも1つであると思った。